

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 集落営農後継者育成等推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農業経営課担い手対策室経営体強化育成係 電話番号：058-272-1111 (内 2847)

E-mail：c11419@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000千円 (前年度予算額：1,000千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,000	500	0	0	0	0	0	0	500
要求額	1,000	500	0	0	0	0	0	0	500
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

中山間地域においては、担い手が不足するとともに、農地条件が不利であることから、担い手への農地集積が進まない状況である。

このため、中山間地域での効率的な生産と環境負荷低減などを両立して実践する集落営農組織の設立・法人化や後継者育成、農地集積を推進する地域を選定し、当該地域への重点的な支援を行い、その成果を県下に波及することで、県全体での事業推進を図る。

(2) 事業内容

ア 集落営農の組織化、後継者育成の推進

集落営農の組織化に向けた検討会の開催、試行的集落共同活動の実施、オンライン会議による話合いの実施、後継者確保に向けた就農相談会への参加やオペレーター募集チラシの配布、集落営農のオペレーター希望者に対し機械操作等に関する実践的な研修会への参加等を支援

イ 集落営農組織の経営強化の推進

集落営農組織の法人化や複数法人による広域再編に向けた検討会の開催、農地集積の促進に向けたアンケート調査の実施、スマート農業技術などの新技術導入に向けた専門家の招へい、経営の多角化に向けた新

たな品目の選定協議等の取組みを支援

事業実施主体：市町村、地域農業再生協議会、地域担い手育成総合支援協議会、農業協同組合、農業者で組織する団体、岐阜県農業協同組合中央会

(3) 県負担・補助率の考え方

定額（上限 200 千円）

中山間地域における担い手育成及び農地集積は、県農業を維持・発展するために必要であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,000	<ul style="list-style-type: none">・ 集落営農の組織化、後継者育成、経営強化等に係る地域の活動経費を助成。・ 事業実施主体：市町村、地域農業再生協議会、地域担い手育成総合支援協議会、農業協同組合、農業者で組織する団体、岐阜県農業協同組合中央会・ 補助事業者：市町村・ 補助率：定額（上限 200 千円）
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
- ・ ぎふ農業・農村基本計画
- ・ 岐阜県農業経営基盤強化促進基本方針
- ・ 岐阜県農地中間管理事業の推進に関する基本方針

(2) 国の状況

- ・ 「みどりの食料システム戦略」において、高い生産性と両立する持続的生産体系への転換等の取組みが位置付けられている。

(3) 後年度の財政負担

中山間地域における集落営農組織の育成及び農地中間管理事業による農地集積の推進には、更にモデル地域を増やすことが有効であり、継続的な財政負担が必要である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	集落営農後継者育成等推進事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、農業者で組織する団体等 (理由) 地域の実情を通じ、事業効果を高めるために 関係機関と連携して取り組むため
補助事業の概要	(目的) 集落営農の育成、後継者の育成 (内容) 集落営農の設立、経営強化、後継者育成の取 組みを支援
補助率・補助単価等	定額 ・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) 定額 (理由) 中山間地域における担い手育成等を推進する ため
補助効果	集落営農の育成等の推進
終期の設定	終期 令和7年度 (理由) ぎふ農業・農村基本計画の目標年度

(事業目標)

中山間地域における集落営農組織等の持続的な営農体制づくりを推進

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	
	(R1)	実績	目標	目標	(R7)	達成率
集落営農数 (組織・人)	24	24	15	累計 30	累計 75	%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	千円	千円	千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	担い手が不足する中山間地域の集落営農の育成とともに、本県の零細な農業者の経営の安定・強化を図る必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満) 	
(評価) 3	当該事業により担い手が不足する中山間地域の集落営農の育成が推進され、農業者の経営の安定・強化が図られる。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<p>中山間地域は未だに担い手が不足しているため、より中山間地域に配慮した事業として継続する。</p>
